

令和4年度九州地域飼料増産研修会開催要領

1 目的

九州地域は稲WCSの生産が非常に盛んであるが、今後面積の大幅な増加は難しい。また、高齢化等に伴う労働力不足や荒廃農地等の拡大も大きな問題となっている。今後、自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営を進めていくためには、単収や品質に優れた極短穂茎葉型イネWCS品種や、省力的な畜産ICT技術の普及を図っていくことが重要であると考えられることから、飼料増産研修会を開催する。なお、農家等への普及が特に重要であることに鑑み、会議はネットワーク上で開催する。

2 主催 九州農政局、(一社)日本草地畜産種子協会

3 日時 令和4年12月6日(火) 13:30~17:00 (予定)

4 方法 ネット会議 (Zoom、九州農政局主催)

5 内容

(1) 第1部 飼料増産勉強会「極短穂茎葉型イネWCS用品種の紹介」

(13:30~15:00)

- ① 極短穂茎葉型イネWCSの特徴と栽培について
(国研)農研機構 九州沖縄農業研究センター 研究推進部 泉 恵市氏
- ② 極短穂茎葉型イネWCSの調製と牛への給与について
広島県立総合技術研究所畜産技術センター 飼養技術研究部 新出昭吾氏
- ③ 極短穂茎葉型イネWCSの種子生産等について
(一社)日本草地畜産種子協会 山渕 泰氏
- ④ 極短穂茎葉型イネWCSの事例紹介
熊本県酪農業協同組合連合会 増田 靖氏(イネWCSのコーディネータ)
宇土市粗飼料生産組合 渡邊 清徳氏(イネWCS生産者)
宮本牧場 宮本 氏(イネWCS利用者)
- ⑤ 質問及びまとめ

(2) 第2部 畜産ICTセミナー「畜産ICT普及のための取組事例等の紹介」

(15:30~17:00)

- ① 事例紹介
 - ア 畜産ICTの最新の研究事例について(放牧関連)
(国研)農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域
省力肉牛生産グループ 中尾誠司氏
 - イ ドローンを活用したイタリアンライグラスの省力栽培
(一社)日本草地畜産種子協会 九州試験地 土方浩嗣氏
- ② 畜産関係ICT普及のための情報提供
最新畜産関係ICT機器の情報提供(公募により候補者を選出しPR)
- ③ 質問及び意見交換

6 対象(参集)範囲

第 1 部は農業者等、第 2 部は農業者、畜産関係団体、地方公共団体等。なお、第 1 部、第 2 部とも参加者の上限は約 80 名とし、事前にネットで募集する。